

木科学 学位論文審査要旨

主 査 長谷川 純 一

副主査 松 浦 達 也

同 村 脇 義 和

主論文

Therapeutic effects of the direct renin inhibitor, aliskiren, on non-alcoholic steatohepatitis in fatty liver Shionogi *ob/ob* male mice

(FLS-*ob/ob*雄性マウスでのレニン直接阻害薬aliskirenによる非アルコール性脂肪肝炎への治療効果)

(著者：木科学、孝田雅彦、加藤順、徳永志保、的野智光、杉原誉明、植木賢、村脇義和)

平成25年 Hepatology Research 掲載予定

参考論文

1. Assessment of ablative margin by unenhanced magnetic resonance imaging after radiofrequency ablation for hepatocellular carcinoma

(肝細胞癌に対するラジオ波焼灼術後の単純MRIによる焼灼帯の評価)

(著者：孝田雅彦、徳永志保、三好謙一、木科学、藤瀬幸、加藤順、的野智光、岡本欣也、村脇義和、柿手卓)

平成24年 European Journal of Radiology 81巻 2730頁～2736頁

審 査 結 果 の 要 旨

近年レニン-アンジオテンシン-アルドステロン系と肝線維化との関連が注目されているが、本研究は非アルコール性脂肪肝炎のモデルであるFLS-ob/obマウスに、レニン直接阻害薬であるaliskirenを投与し、肝線維化および脂肪肝炎に対する治療効果を検討したものである。その結果、経口的にaliskiren 100 mg/kg/dayを16週間投与すると、形態学的・生化学的に肝線維化および脂肪肝炎が抑制された。この機序として、肝星細胞の活性化の抑制、炎症性サイトカインや酸化ストレスの抑制が挙げられた。本研究は、レニン直接阻害薬が肝線維化を含めた脂肪肝炎自体の治療に有用であることを示したものであり、明らかに学術水準を高めたものと認める。